



わたっこ通信 7月号

令和2年6月17日

度会町

子育て支援センター情報誌



各地で梅雨が明け、いよいよ本格的な夏の到来となる7月。

『しちせき』とも呼ばれる七夕の行事もあり、子ども達の楽しみの1つですね。ところで、七夕の日が雨だと、織姫と彦星は出会うことができないのでしょうか？（今年は、感染症対策のため、その方がいいのかも…??）

7月の行事予定

- 14日（火）遊・友・YOU（ひよこ）
10:30～11:30
- 16日（木）遊・友・YOU（うさぎ）
10:30～11:30
- 15日（水）わたっこ Baby 広場
10:00～11:00
育児相談
11:00～12:00



熱中症予防のために

気温が上昇してくると、気にかかってくるのが「熱中症」です。

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。

屋外だけでなく室内で何もしていない時でも発症します。

熱中症を予防するためのポイントは「暑さを避けること」と「こまめに水分を補給すること」です。

「暑さを避ける」ために、室内では、扇風機やエアコンで温度を調節したり、室温をこまめに確認しよう。

外出時には、日傘や帽子、日陰の利用、こまめな休憩をしよう。

「こまめに水分を補給する」ために、室内でも外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分経口補水液※などを補給しよう。

※水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの

***子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので、十分に気を配る必要があります。**

***夏場のマスク使用は熱中症のリスクを高めます。**

このことを念頭に置き、こまめにゆっくりと水分を摂ることを心がけてください。



0・1・2歳の生活習慣（Vol.1 食事）～1人1人の個性を尊重して楽しくおいしく食べる

あそびの好みや体の発達と同じように、「食」においても、子どもたち1人1人に個性があります。

食事時間は必ず〇分でなければならないとか、成長に必要な量だから残さず食べさせなくては、という風に考えてしまいませんか。食事の時間でも、時にはその子の食べたくないタイミングだったり、食べたい順番がその子なりにあるのに、ほかの物を勧められたりすると、食べるのが苦手になることもあります。大人でも、今は食べたくない、という事や、今これが食べたい』ということ、ありますよね。

1人1人の個性を見極め、その子の好きな食べ方やタイミングを知ることで、子どもが楽しく食べられるきっかけが作っていけるといいですね。



☆子育て相談を受け付けています☆ TEL63-0070 FAX62-0071 【秘密厳守】





わたっこ広場5月25日より再開しています♪



みんなで体操・読み聞かせをたのしみました♪



お母さん手づくりの
マスク大活躍♪



3輪車の練習！！



つかまり立ちできるようになったよ！